

テーマ

OSを入れ替えただけで、フォントにトラブルが生じる？ ~ JIS2004への対応について ~

「Windows Vistaをインストールしたら、I.B.MUSEUM で作成した情報をXPで見るとき、フォントが化けてしまうんじゃないの？」というお問合せを多くいただいています。

最 近、パソコンの入れ替えをお考えの館を訪れると、「Vistaでも大丈夫ですか？」という質問をお受けする機会が増えてきました。I.B.MUSEUM 2005をWindows Vista上で動作させることを想定はしていませんが、入力や閲覧は可能。しかし、状況によっては、問題が生じる場合があります。

「Vistaで作ったデータをインターネットで公開する時、アクセス者側のOSがWindows XPでも大丈夫？」「同じネットワークの中で

VistaとXPが混在していた場合は？」というようなご質問が増え始めてきたので、まずは現在分かっている問題についてご説明しようと思います。

結論から申し上げます。Windows Vistaがインストールされているパソコンでは、そのPC内でI.B.MUSEUMを使う分には問題ありませんが、他のパソコンがVistaでない場合、ネットワーク上のデータ共有の際、フォントが文字化けするというトラブルが生じることがあります。

たとえば、LANネットワーク上にあるパソコンのOSがWindows XPだった場合、Vistaで登録されたI.B.MUSEUMのデータを閲覧しようとする、文字が表示できない場合があります。また、これらのデータをインターネットに公開する場合も、アクセス者のPC環境によっては「文字化け」する場合があります。

これは、Vistaで採用されているフォントの規格の違いによる問題です。特に、現在(すでにI.B.MUSEUMがセットアップされている)XPパソコンのOSをVistaに入れ替える際には、できれば弊社までご一報を。

WINDOWS Vista で作成した文書を、WINDOWS XP で使う場合の留意点

Windows Vista を搭載したパソコンでI.B.MUSEUM 2005 を使って收藏品データを入力。そのデータをWINDOWS XP で使うことができるか簡単にまとめると、以下のようになります。

Windows Vistaでは、Windows XPで使用されているものとは異なる規格のフォントが搭載されています。Microsoft社では、両者の規格を対応させるパッケージを用意していますので、これを利用する場合としない場合では、右のような違いが生じます。		VistaのフォントをインストールしていないXP		VistaのフォントをインストールしたXP	
		ネットワーク内	閲覧	×	
	編集	×	×		
インターネット	閲覧	×			

では、Windows Vistaをインストールしたパソコンでは、事実上I.B.MUSEUMが使えないのでしょうか？
 実は、解決する方法はいくつか存在します。詳細はちょっと複雑ですので、裏面に。

Windows Vista と Windows XP を同じネットワーク内で共存させるには、きちんとした運用ルールの制定が不可欠です。



Windows XPとWindows Vistaの間で生じるフォントのトラブルは、それぞれのOSに付属しているフォントが採用する規格の違いが原因です。

Windows Vistaには、『MS Pゴシック』『MSゴシック』『MS UI Gothic』『MS P明朝』『MS明朝』『メイリオ』の6書体が付属しています。これらは、新JIS標準『JIS2004』に対応するフォントですが、一方、Windows XPまでに付属している『JIS90』規格のフォントが使われています。簡単に言えば、VistaとXPでは参照しているJIS漢字のバージョンが異なるため、文字によっては表示できないなどの問題が発生し得るわけです。

こうした文字の表示上の混乱を回避するには、以下の2つの方法があります。

Vista側PCでの対応

1. 変換時に「環境依存文字」という表示がされたら、それはXPでは正しく表示されない文字なので、使わないようにする。【図1】

2. 環境依存文字が表示されないよう、あらかじめ設定しておく。【図2】

入力スピードを考えると、2番目の方法が簡単かもしれません。



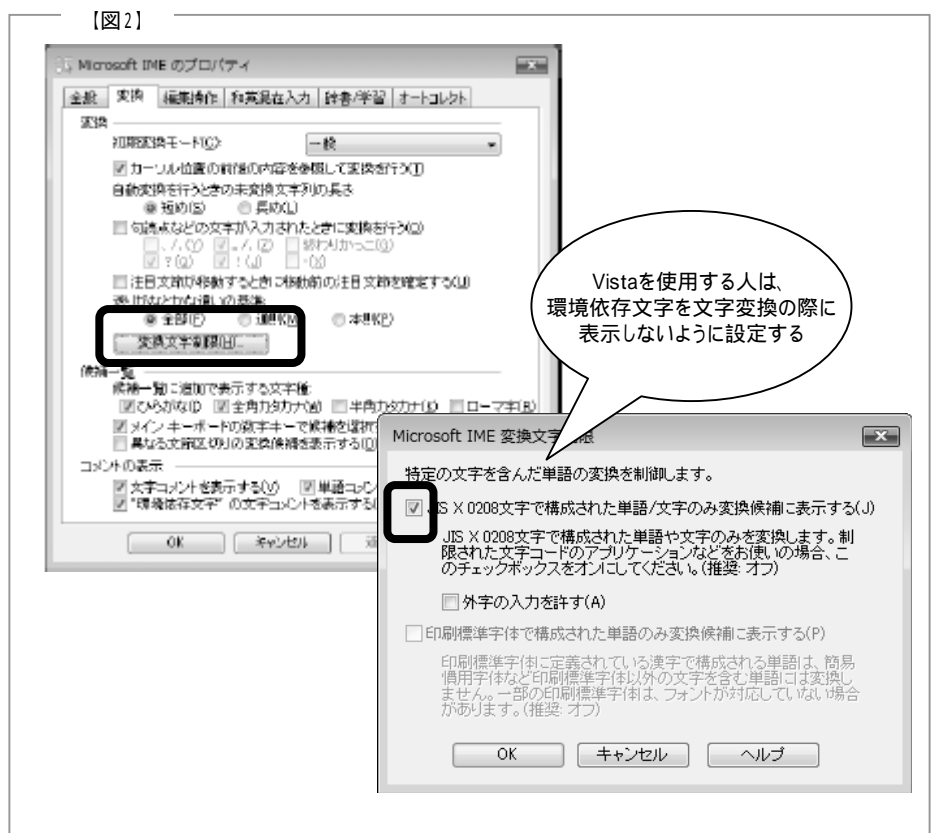
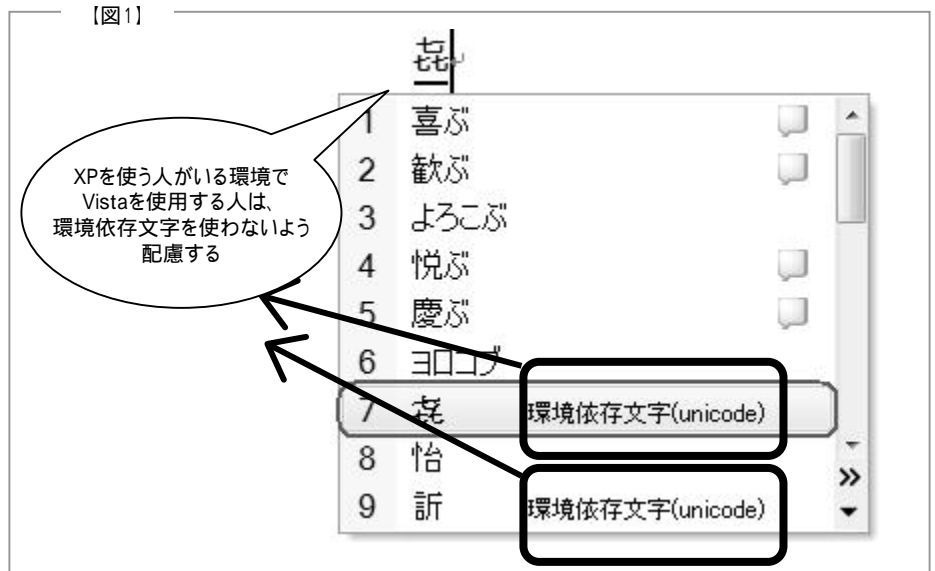
て、これらの問題は、入力する側だけのものではありません。Windows VistaとXPが混在するネットワークでは、閲覧する側の端末にも準備が必要となります。

Vistaで作成した文書をより円滑に表示できるよう、XP側のフォントをVistaの環境に合わせるパッケージが用意されているのです。

Windows XPを使っているパソコンに対してMicrosoft社からリリースされている『MSゴシック & MS明朝 JIS2004 対応フォント』をインストールすれば、環境はかなり整います。詳細は、下のURLをご参照ください。

さて、館でご使用中のパソコンのすべてにWindows Vistaがインストールされていれば、内部利用の上ではこうした問題は生じません。しかし、Windows VistaをインストールしたパソコンでI.B.MUSEUM 2005を使っている、そこで作成した情報をホームページで公開する時には、特に注意が必要です。アクセス者のパソコンがWindows XP、あるいはそれ以前のOSを利用している際には、表示に問題が発生することがあるからです。

こうした場合は、まず館のサイト上に「フォントに関する注意事項」を掲載し、JIS2004フォントをインストールできるマイクロソフトのサポート情報サイトへのリンクを貼っておくなどの配慮が必要になります。



表面でもご説明した通り、Windows VistaとXPのフォント環境を対応させるパッケージが配布されていますが、それでも完全とは言

えません。Windows Vistaのインストールをご検討になる際は、まずは、弊社までご相談いただくことをお勧めいたします。

フォント表示の問題に対するMicrosoft社のサポート情報は、以下のサイトなどをご参照ください。

Windows Vistaで拡張された文字についての解説が掲載されています。
<http://support.microsoft.com/kb/927488/JA/>

Windows XP向けJIS2004 対応の『MSゴシック&MS明朝』フォントパッケージをご利用の際は、こちらへ。
http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis04/default.mspix

Windows Vistaに対して、JIS90 互換の『MSゴシック&MS明朝』をインストールするフォントパッケージもあります。
http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis90/default.mspix